

県内製造業、 中小企業における 製造設備他でのDX化取組事例説明

令和4年度
第2回医工連携事業
説明会の開催(10月3日)

令和4年10月3日(月)午後に、第2回医工連携事業説明会として、「県内製造業、中小企業における製造設備他でのDX化取組事例説明」をテーマに開催しました。これは、製造業におけるAI、IoTの利活用を中心とした企業の取組を株式会社ウイング、大興電子通信株式会社よりご紹介いただきました。



補助金活用の際に求められるIT技術の利活用の中で、最近の傾向の1つが、DX化の具体的な計画や内容です。これは、従来から言われていた情報の共有や情報のデジタル化の延長上の話ですが、まれにEDI等の特殊なシステムを要求されることもあり、注意が必要です。しかし、単なるDX化の実施で差し支えない事例も多く、そのような場合は中小企業だからIT技術

の利活用は無理と諦める必要はありません。

IT技術の利活用は容易なものではありませんが、反面大企業でなければ不可能という時代ではありません。その点をよく見極めて、自社にとって必要な補助金を活用することが企業の成長に必要です。

この第2回説明会で、株式会社ウイングは県内の中小企業におけるDX化の取組、主に業務データのデジタル化や情報共有化を進めている事例を紹介いただきました。大興電子通信株式会社は、三条市の作業治工具等を製造・販売している株式会社マール長谷川工作所での取組事例、1)製造装置のアナログメーターの値をデジタル化し、そのデータを社内で共有化し、機械の稼働監視に役立っている事例、2)ベテラン職人の匠の技をスマートグラス等を活用し、デジタルで記録することで業務手順書をDX化し、次の世代の社員に継承する取組の2つを紹介いただきました。



大興電子通信株式会社
ビジネスクエスト本部 DX推進部 課長
滝浪一彦様



株式会社ウイング
代表取締役社長
樋山泰三様



10.20^木 / 10.21^金



1. 燕三条ものづくりメッセへの出展

本事業が平成31年2月より開始され、その年の「燕三条ものづくりメッセ」にも出展し、参加企業の募集を目的として活動しています。途中、感染症対策等のため、オンライン開催となり、企業との接点の確保が難しい時期がありました。昨年より制限があるものの対面開催となりました。

今年のものでづくりメッセでは、1日目「1,760名」、2日目「2,071名」、合計「3,831名」の入場があり、とくに本学の展示コーナーでは昨年の倍近い来場者がありました。参加企業・団体は180社となりました。



2. 出展の内容

多くの展示会への出展で大学の場合は、主に研究者の研究テーマ(言い換えれば、シーズ)を展示することが中心となりますが、ものづくりメッセでは、企業と連携して開発している製品(販売開始済み含め)を展示し、見学者の関心を集めることに注力しています。これまで、簡易トイレや爪切りを中心としていましたが、今年は「支援箸」「病室巡回用ワゴン」のように医療の場面で直接使うものというよりも医療の様々な場面で医療関係者をサポートするものの開発が目立っていました。

そのため、直接そのような製品の製造に関わりのない企業や来場者の関心を集めることができ、広く本学の事業への関心を高めることができました。ただ、今年度は会場で直接参加を希望する企業が居なかったことが残念でした。

3. 出展の効果

出展の効果は、本学が取り組んでいる内容の特徴や参加企業のすそ野の広さを広報するという点で大変効果があったと思います。また、「支援箸」について、現在は天然の木材を使っていますが、樹脂での製造を希望する企業があり、企業同士の連携を期待しています。

昨年度同様にオンラインでの広報やミーティング受付等を行いました。その経路での企業訪問が無かったことが残念です。実際に他の参加企業も対面での対応に注力している状況でした。

4. 今後の取組

来年度以降、対面対応により活動が変わると思います。それにより、来場者がさらに増え、とくに県外からの参加者との交流で新たな本事業のビジネスチャンスが参加する企業にとってプラスになることを期待しています。



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

【医工連携広報誌】問合せ先

新潟大学地域創生推進機構ビジネスプロデュース室
bp@ccr.niigata-u.ac.jp

<https://www.ircp.niigata-u.ac.jp/>

【燕三条医工連携コンソーシアム】

協同組合 三条工業会 三条商工会議所 燕商工会議所
三条市 燕市 三条信用金庫 協栄信用組合

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な社会の実現を目標とするSDGs達成に向けて、課題解決に取り組んでいます。

新潟商工会議所

【協力】日刊工業新聞社 新潟支局